

新外国人が

日本人に

よく聞く

100

の質問

秋山宣夫
秋山キャロル
著

君は英語で
日本について
話せるか？

三修社

カバーデザイン 阿部順子

本文イラスト 佐藤 薫

新・外国人が日本人によく聞く100の質問

1990年7月10日 第1版発行

1993年8月20日 第22版発行

著 者 ©秋山宣夫・秋山キャロル

発行者 前田完治

発行所 株式会社 三修社

〒110 東京都台東区下谷1-5-34

電話 03(3842)1711(代)

振替口座 東京9-72758

編集担当 三浦勢津子

印刷所 株式会社 萩原印刷所

製本所 有限会社 葵製本所

©1990 Printed in Japan

ISBN4-384-01288-8

新外国人

日本人

よく聞くと

江苏工业学院图书馆
藏书章

の質問

秋山宣夫
秋山キャロル
著

三修社

はじめに

この本が最初に出版されて以来、すでに10年以上たちました。この間、実用的な面で役立ったとフィードバックを下さる読者の方々もあり、感謝にたえません。国際親善がうたわれてから久しくなりますが、国と国との関係では、常にスムーズであったわけではありません。それだけに、この本が草の根外交において、相互理解の一助として何らかの役割を果たせていたら幸いです。

「十年一昔」と言われていますが、この言葉を改めて思い知らされるこの頃です。振り返ってみれば、世界情勢はこの時期に急激な変化を遂げ、特に日本の経済分野での躍進には目覚ましいものがありました。日本の国際的地位の向上とともに、日本の国際社会への貢献や、メンバーとして果たすべき責任などが論議されるようになったのも、これを如実に反映していると言えるでしょう。

国際関係は、政治や経済に限られているわけではありません。世界中のいたるところで、日本及び日本人に対する一般の人々の関心が、以前に増して高まっています。それと同時に海外に出かける日本人が増え、日本を訪問する外国人の数も増加しています。結果として、外国人と接触する機会、日本に関する質

問を受ける機会も急増中です。

現代の情報文化の中で、国民の意見はともすればマスコミに左右されがちです。そこで個人的なレベルで機会あるごとに外国人と話し合い、積極的に意見や情報を交換することが、いよいよもって重要な時となりました。

日本人の知識欲は旺盛です。外国人と英語で話すとき何か日本について聞かれたら、多分その答えは日本語でなら知っているに違いありません。しかしそれを、英語で相手がわかるように説明できるでしょうか。多くの人々が日本語では知っているも英語では言えない、このはがゆい経験を何度となく繰り返しています。これは海外にいるビジネスマンにも、観光旅行者にも、留学生にも起こるし、日本にいても外国人と話す機会のあるときには必ずと言っていいほど起こります。

外国人との会話で質問に簡単に答えるつもりで、単に“Yes.”とか“No.”だけで返事をすまそうとする人もよくいます。日本には「沈黙は金」という言葉もあり、あまりよくしゃべるのは軽薄とも考えられています。しかし欧米では知っていることは堂々としゃべるべきで、言うことがないのは知らないからだと思われがちです。それにイエス、ノーだけの返事はぶっきらぼうで、愛想のない性格だと誤解される恐れもあります。慎重深く控え目の態度より、知っていることは付け加えて、むしろ積極的にものを言うほうが欧米の人々の間では評判がいいようです。何も流ちょうな英語で百科辞典のような知識をひろうする必要は全然なく、知っていることを少しでも努力して説明しようとするれば、相手はその誠実さに気づき、むしろそこから友情の花も咲こうというものです。

この本には、とくに外国で外国人が日本人に実際よく尋ねた

質問の代表的なものなかから、100 選んであります。そのなかには非常に詳しい質問や、一般的な質問が入っています。質問からもわかるように、ある人はすでに日本のことを多少は知っており、ある人は日本に対する知識が全然ないことを示しています。質問をした人々は、あらゆる階層、年齢、収入、教育の背景、職業にわたっています。しかしその多数は、英語が母国語の人々です。

それゆえ質問にも答にもアメリカの現代口語英語が使われ、書く英語ではなく話す英語に焦点が絞られています。これはアメリカン・イングリッシュですが、ブリティッシュ・イングリッシュや他の英語を話す人々にも問題なく理解できる英語です。

この本では、それぞれの質問は次のようにアレンジされています。初めに中心の話題の見出しがあり、主な質問がタイトルにもなっています。各質問は三部にわかれています。質問の事柄に関連した日本語の短いエッセイ、実際の質問と応答、それに続く二対の質問と答の追加の会話です。実際の質問と応答の部分では、聞かれた質問に対して大部分の人が自然に感じられる答え方で、比較的容易な英語を使って答えることができます。追加の会話も同様ですが、ここではさらにつっこんだ質問が扱われています。しかし質問は必ずしもいつもこの順序ではなく、実際の会話では追加の会話の質問が先に尋ねられることもあります。

個人的な質問が尋ねられた場合には、それに対応できるように答が選択できるようになっています。特定の事実に関する答でとくに変化の可能性がある統計資料を含むときには、“around”, “about”, “approximately” などのおおよその見積りを示す語が使っています。もし代りに新しい情報を使い

たいときには、同じセンテンスのまま単に古い情報の部分だけ簡単に置き換えることができます。この本の読者が将来聞かれる質問と一言一句同じとは限らないことは明らかです。しかしこれらの質問を読み、ここに与えられた応答ができるようになった読者は、質問の多少の変化にも比較的容易に適応できる柔軟性を身につけるでしょう。

この本は、日本の文化について外国人に伝えることがよくできたらと考えている人々の一助になることを目的にしています。そしてとくに、読者が日本語ではすでに十分持っている知識を英語にするのに、幾分でも役立つことを主な目的にしています。日本人が日本について英語で話す機会に貢献できれば幸いです。外国人が日本をいっそうよく理解するのを助けるとともに、一定の質問のパターンから外国人の日本や日本人に対する見方もうかがい知ることができます。それと同時に英語で話すことによつて、ふだんは無意識だった日本文化の伝統や日本人を違った角度からながめるチャンスでもあります。さらにいつも説明する側にまわるばかりではなく、ある単語を置き換えることによって、逆によその国に関する質問もできるように、会話を運ぶ上のヒントにもなっています。

なおこの本に加えて、さらに実際の会話のやりとりを聞き、発音、アクセント、イントネーション等を練習したいと望む読者は、本書の会話を収録したカセット・テープを御利用ください。

秋 山 宣 夫

秋 山 キャロル

目次

はじめに——3

1. 社会生活と家庭生活——11

- 見合結婚 Arranged Marriage——12
- 結婚式 Weddings——15
- 家族の規模 Family Size——17
- 親 Parents——19
- 年寄り Elders——21
- 寿命 Life Expectancy——23
- お客 Guests——25
- 握手 Shaking Hands——27
- 名刺 Cards——30
- くつ Shoes——33
- 風呂 Baths——35
- 混浴 Mixed Bathing——37
- 寝かた Sleep——39
- 自動車 Cars——41
- 保育園 Nursery Schools——44
- タクシーの運転手 Cab Drivers——46
- 地下鉄 Subways——48
- 押し屋 Pushers——51
- 喫煙 Smoking——54
- テレビジョン Television——57
- 値段の駆け引き Bargaining——59
- チップ Tipping——62
- 読み書き能力 Literacy——65

2. 食生活・住生活 67

- はし Chopsticks——68
- 米 Rice——71
- しょう油 Soy Sauce——73
- 飲み水 Water——76
- 飲酒 Drinking——79
- 果物 Fruit——81
- デザート Dessert——83
- コーヒー Coffee——85
- 牛肉 Beef——87
- 鯨肉 Whale Meat——90
- さしみ Raw Fish——93
- 毒のあるさかな Poisonous Fish——95
- 太りやすい食べ物 Fattening Food——98
- 外国の食べ物 Foreign Food——101
- 辛い食べ物 Hot Food——103
- 日本の家 Japanese Homes——105
- 住宅 Housing——108
- セントラルヒーティング Central Heating——110

3. スポーツ・趣味・娯楽 113

- 野球 Baseball——114
- フットボール Football——117
- スキー Skiing——119
- ゴルフ Golf——121
- 柔道 Judo——124
- 空手 Karate——127
- 盆栽 Bonsai——129
- ペット Pets——131
- 旅行 Travel——133
- 芸者 Geisha——136

4. 日本伝統と文化——139

- 伝統的日本 Traditional Japan——140
華道 Flower Arrangement——142
茶の湯 Tea Ceremony——145
文楽 Bunraku——148
能 Noh——150
歌舞伎 Kabuki——153
国技 National Sport——156
人間国宝 Living National Treasures——159
仏教 Buddhism——162
禅 Zen——164
神道 Shintoism——167
着物 Kimono——170
祝日 Holidays——172
日本語 Japanese——174
漢字 Chinese Characters——177
日本語の書き方 Japanese Writing——179
タイプライターとワープロ Typewriters and Word Processors
——182
第二の言葉 Second Language——184

5. 政治・経済・制度——187

- 政党 Political Parties——188
天皇 Emperor——191
徴兵制度 Draft System——193
石油 Oil——196
会社 Companies——199
1人当りの所得 Per Capita Income——202
社会保障 Social Security——204
労働組合 Unions——207
定年の年齢 Retirement Age——209
女権拡張運動 Women's Movement——211

教育	Education	214
試験地獄	Examination Hell	216
自殺	Suicide	218
犯罪	Crime	221
少年犯罪	Juvenile Delinquency	223
麻薬	Drugs	226

6. その他 229

季節	Seasons	230
雨期	Rainy Season	232
地震	Earthquakes	234
日本の大きさ	Size of Japan	236
人口	Population	238
東京	Tokyo	240
富士山	Mt. Fuji	242
新幹線	Shinkansen	245
成田空港	Narita Airport	248
中国語	Chinese	250
キリスト教信者	Christians	252
クリスマス	Christmas	254
英語の大衆報道機関	English-Language Media	257
貧民街	Slums	260
言葉を教える仕事	Language Teaching Jobs	263



社会生活と家庭生活



Do you still have arranged marriages in Japan?

日本でも恋愛結婚が非常にふえ、見合後恋愛といわれる結婚もできました。しかし見合結婚もずいぶんあります。恋愛結婚が当然の欧米の人たちには、見合結婚は不思議な習慣です。中には、会ったことのない相手や、一度顔を見ただけの相手とする結婚がすなわち見合結婚だと思っている人もいます。アメリカでも、他人の紹介で未知の相手とするブラインド・デートがありますが、結婚を目的とする見合とはやはり違います。結婚の相手は自分で見つけるものと考えているので、人がさがしてきた相手と結婚するのは理解できません。

アメリカでも日本でも、恋愛結婚は理想的、見合結婚は封建的で好ましくないと考える人が多いようですが、恋愛結婚の国アメリカには離婚が非常に多く、結婚の対象としてじっくり相手を見極める見合結婚にもすぐれた点がありそうです。

Q: Do you still have arranged marriages in Japan?

「日本には、まだ見合結婚がありますか？」

A: Yes, we do. About three-fourths of all Japanese marriages are said to be love marriages. The rest are arranged. But arranged marriage doesn't mean forced marriage. There's no pressure to marry someone you don't want to marry. And quite often what begins as a potential arranged marriage turns into a love marriage. But there are no statistics on that.

「はい、あります。しかし日本の結婚全体の約四分の三が、恋愛結婚だといわれています。そしてその残りが見合結婚です。見合結婚は強制的な結婚ではありません。もし相手が気に入らなければ、結婚を無理強いされることはありません。そしてしばしば、見合が恋愛結婚へと発展することがあります。しかし、それに関する統計はありません」



Q: Who does the arranging?

「誰がお見合の手はずを整えますか？」

A: A go-between called a *nakodo*. The *nakodo* are not professional matchmakers. They're just people who enjoy introducing prospective marriage partners. And they're usually quite good at it.

「仲人と呼ばれる仲を取り持つ人がそれをします。仲人は、縁結びのくろうとではありません。仲人は、将来結婚の見込みがありそうな相手同士を紹介するのが好きな普通の人です。そして仲人は、人を引き合わせるのがとても上手です」

Q: What about the parents?

「親は何をしますか？」

A: The parents of either the man or the woman might make the initial contact with the *nakodo*. And they might be present when the prospective couple first meet. But they're not the ones to make the final decision about the marriage.

「お見合をする男性または女性の親が、初めに仲人に頼みに行くこともあります。そしてお見合の相手同士が初めて会うとき、双方の親がその場に立ち会うこともあります。しかし結婚について最終的な決定を下すのは、親ではありません」

USEFUL VOCABULARY

見合写真 special photo for the marriage interview

縁談をまとめる make a match

縁談を申し込む propose a match

破談にする break off the match

縁談を断わる decline an offer of marriage

集団見合 group interview with a view toward marriage

見合の場所 place for the marriage interview

相手が気に入る be pleased with a prospective mate

婚約 engagement

婚約 fiancé (男), fiancée (女)

交際する have a date with

交際期間 period of getting acquainted

WEDDINGS

結婚式

What are Japanese weddings like?

日本の結婚式と披露宴を経験したことがある欧米の人々の間には、典型的反応が2つずつあります。神前結婚や仏式結婚は珍しく、異国情緒にあふれ、まるで芝居でも見ているような気がするようです。しかしキリスト教の信者でない人が教会で式をあげるのには、彼らは宗教に対する態度が厳密で明確なだけに、なかなか納得がいかないようです。

披露宴はどちらも大体同じですが、アメリカ人のなかには式から披露宴まで新郎新婦が自分たちで演出する人がかなりいます。日本の披露宴で興味をもち、また不思議に思うのが新婦が何回も着ている物を変えることです。アメリカでは招かれた客がプレゼントの品を持って行きますが、日本ではそのお返しをもらえるという喜び、日本の引出物の習慣が気に入る人もたくさんいます。

Q: What are Japanese weddings like?

「日本の結婚式は、どんなようすですか？」

A: It depends on what kind of ceremony it is. Many people have *Shinto* weddings. It could be at a shrine or elsewhere, and a *Shinto* priest is present. The bride and groom wear formal wedding *kimono* and there's a ritual exchange of drinks from three cups of *sake*. These days a lot of Japanese are married in Christian churches, even though they may not be Christians.

「それは、結婚式の種類によって違います。神前結婚式を挙げる人が、